

心に残る文化財子ども塾 津和野町立青原小学校

1. 活動の概要

5月23日(火)、津和野町立青原小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。授業の前の休み時間に、みんなで古代衣装を着て記念撮影を行いました。もちろん当時の服装そのものではありませんが、みんな気分はすっかり古代人になりきって仲良く記念撮影を行っていました。授業に入ると、まずこれまで学習してきた縄文時代から奈良時代までの歴史をクイズ形式で学びました。その次に、青原地区の遺跡について埋蔵文化財調査センターの職員から説明を受け、子ども達は、学校のすぐ近くにも遺跡があることに驚いた様子でした。

そして、鏡作りの説明を受けたあと、いよいよ、鏡作りに挑戦です。最初に職員が金属を鍋に入れて溶かすのを見て、金属が溶け出すと一斉に歓声が上がりました。そしていよいよ自分たちで金属を溶かして鑄型に流し込む段になると、みんな緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。ちょっと心配していましたが、みんな見事に鑄込みに成功しました。鑄型が冷えるのをしばらく待ったのち、いよいよ鑄型を開けて無事に鏡ができたのを確認した時には、あちこちで歓声が上がっていました。その後、鏡面をサンドペーパーで一生懸命に磨き、最後に研磨剤で仕上げを行いました。鏡磨きが佳境に入って自分の姿が映りはじめると、あちこちで「先生できた！顔が映った！」といった歓声があがっていました。最後時間が不足してやや尻切れトンボになりましたが、みんな無事に鏡作りを終えることができてほっとしました。

授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史と身近にある遺跡への関心がぐんと高まった様子でした。

2. 活動の様子

1) 青原地区の歴史を学ぼう！

- ・青原小学校の近くにはどんな遺跡があるかな？

2) 鏡作りに挑戦！



古代人になりきって、「はい、ポーズ！」



土器を実際にさわってみよう！



すごい、金属があつという間に溶けていくぞ！



先生も頑張ってます！

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・型に流して固めて磨くのが楽しくて一番心に残りました。
- ・自分で鏡を磨いて顔が映った時は達成感がありました。
- ・もう一回鏡を作りたい。
- ・鏡を磨くのは大変だったので、昔の人はすごいなと思いました。
- ・今度は銅剣を作りたい。
- ・風邪で休んでいてその場でできなかったけど、あとで鏡をもらって家で磨いてみてすごく大変だったというのがわかりました。

2)担任の先生から…

- ・本物の遺物を見たり触ったりして縄文～古墳時代への関心が高まったことは大変よかったです。
- ・できれば次回は戦国時代など他の時代をテーマにした体験学習ができればいいなと思いました。
- ・あと、古代体験メニューとして、銅剣のレプリカ作りがメニューであればいいなと思います。

3)埋文センターから

初めての歴史の学習なので、最初に縄文時代から奈良時代までの歴史についてクイズ形式で復習をしてみました。みんな歴史の学習がしっかり身につけていてびっくりしました。クイズでは、縄文人の食事について考えたり、古代にも水筒のような土器があることを知り、興味を持って話を聞いてくれました。

次に、青原地区周辺の歴史について同じようにクイズ形式で学びました。代官所跡のような江戸時代の遺跡や中世の集落が小学校のすぐ近くにあることを知り、みんな驚いた様子でした。

そしていよいよ鏡づくりに挑戦です。最初に職員が実演しましたが、みんな真剣な面持ちで眺めていたのが印象的でした。みんなが溶けた金属を上手に鋳型に流し込むことができるかどうか正直心配でしたが、先生の力を借りながらも全員が無事にやり遂げることができて何よりでした。鏡磨きは時間が足りなくて最後までできなかった人もいましたが、磨き粉(ピカール)をもらって続きは家で頑張って磨くと張り切っていた姿が印象的でした。

感想では、実際に溶けた金属を鋳型に自分で流し込むことが楽しかったという意見や、鏡を磨いて実際に自分の顔が映った時がすごくうれしかったとの意見が多数聞かれました。今回の授業を一つのきっかけとして、自分達の住む地域の歴史に関心を持ち、さらに自分で調べたり大人に聞いたりしながら、学習して行ってほしいと思います。